

当院の災害対策について

-自分の命は自分で守る-



KIDNEY CLINIC
SETAGAYA

医療法人社団菅沼会
腎内科クリニック世田谷

臨床工学技士 齋藤祐太

2017年4月23日(日) 腎内科クリニック世田谷・患者友の会 共催勉強会

日頃から心がけて
おくこと

透析中に災害が
起きた時

腎内科CL世田谷の
災害対策設備

透析中以外に災害が
起きた時

院内防災訓練の
報告

東京都区部災害時透析
医療ネットワークのご紹介

日頃から心がけて
おくこと

透析中に災害が
起きた時

腎内科CL世田谷の
災害対策設備

透析中以外に災害が
起きた時

院内防災訓練の
報告

東京都区部災害時透析
医療ネットワークのご紹介

日頃から心がけておくこと

近隣の透析施設

災害時に当院で透析が不可能な場合は近隣の透析施設で透析を行うことが考えられます。日頃から近隣の透析施設の所在地を確認しておきましょう。電話番号も知っておくと便利です。

透析条件カード

当院の透析患者様であることや透析条件が記録してあります。他の透析医療機関や避難所などで透析を受ける場合、スムーズに透析を受けられます。透析条件変更時は透析条件カードを更新して下さい。更新の際はスタッフにお渡し頂くか、保険証を毎月受付に提出される際に透析条件カードも提出して頂くと最新の条件に更新されます。透析条件カードは必ず財布などに携帯するようにしましょう。

もしカードを紛失してしまった時のために**DW(ドライウェイト)**と**禁忌薬・アレルギー**は自分で覚えておきましょう。



日頃から心がけて
おくこと

透析中に災害が
起きた時

腎内科CL世田谷の
災害対策設備

透析中以外に災害が
起きた時

院内防災訓練の
報告

東京都区部災害時透析
医療ネットワークのご紹介



腎内科クリニック世田谷の災害対策設備

・自家発電装置	稼働時間: 約8時間(第2透析室)
・貯水タンク	貯水量: 1.2t
・透析物品	2週間分
・備蓄品	携帯用トイレ: 20人分、水: 2ℓペットボトル×90本、 非常食: イシイの非常食Aセット(3食)×10式 ブルーシート、軍手
・消防用設備等	消火器: 12本、自動火災報知設備、誘導灯、 防排煙制御設備
・災害時使用装備	ラジオ付懐中電灯: 1台、ヘルメット: 20個、 エアーストレッチャー: 2台、 ハンドメガホン: 1台、衛星電話: 2台
・その他	AED(自動体外式除細動器): 2台 緊急時飲料提供自動販売機(3階)
・透析液供給装置 RO装置(転倒防止器具)	Gelsafe(ゲルセーフ)

自家発電装置



貯水タンク





備蓄品



携帯用トイレ: 20人分
水: 2ℓペットボトル × 90本
非常食: イシイの非常食Aセット10式
軍手、レジャーシート



緊急時飲料提供自動販売機(3階)



衛星電話

TEL 88216-6876-8885



1階

AED(自動体外式除細動器)



2階

AED(自動体外式除細動器)



日頃から心がけて
おくこと

透析中に災害が
起きた時

腎内科CL世田谷の
災害対策設備

透析中以外に災害が
起きた時

院内防災訓練の
報告

東京都区部災害時透析
医療ネットワークのご紹介

防災訓練の報告

第1回防災訓練 【避難誘導訓練】 平成27年10月3日

第2回防災訓練 【消火器訓練】 平成28年5月26日

第3回防災訓練 【火災総合訓練】 平成28年11月19日

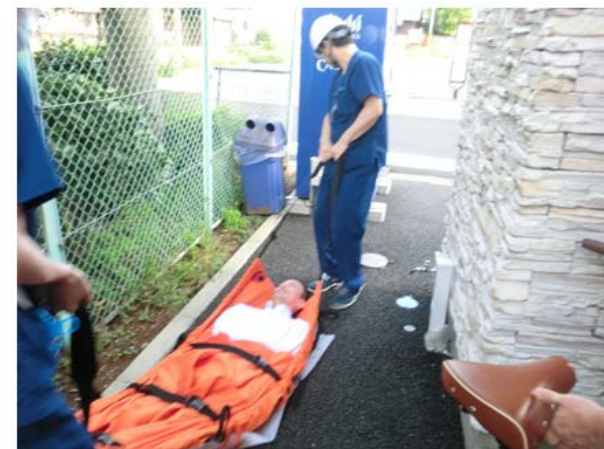
平成27年10月3日 第1回防災訓練 【避難誘導訓練】

◆シナリオ

午後4時00分、首都直下型震度6強の地震が発生。

けが人、死亡者は出なかったが、断水・停電により、透析続行不可となる。

建物の安否が不明のため、第一避難所であるりんれい公園まで患者様を避難誘導する。



平成28年5月26日

第2回防災訓練 【消火器訓練】

消火器の使用方法を確認し、水の入っている消火器を実際使用しました。

消火器(12箇所)、火災報知機(5箇所)、防火シャッター(2箇所)、避難経路、備品(離脱セット、ヘルメット、ハンドメガホン、ストレッチャー、ラジオ付懐中電灯、非常食・飲料、非常用トイレ、ブルーシート、軍手)の場所を非常時に利用できるように確認しました。

消火器の使い方

1. 安全ピンをぬいて
2. ホースを火元に向ける
3. レバーを強くにぎる





平成28年11月19日 第3回防災訓練 【火災総合訓練】

◆シナリオ

第二透析室奥のコンセントより火災発生。第二透析室透析中であった患者様をりんれい公園へ避難開始。迅速な初期消火活動により鎮火。透析の継続が可能となる。

患者役4名

離脱担当2名

初期消火4名

患者様の離脱完了まで(一人あたり)
約40秒

自動火災報知設備発報から
患者様の離脱完了まで 7分 21 秒



日頃から心がけて
おくこと

透析中に災害が
起きた時

腎内科CL世田谷の
災害対策設備

透析中以外に災害が
起きた時

院内防災訓練の
報告

東京都区部災害時透析
医療ネットワークのご紹介

透析中に災害が起きた時

地震が発生した場合 ～揺れが収まるまで～

- ① **ベット柵につかまって**、振り落とされないようにしましょう。強い地震では頭上からものが落ちてきたり、ベッドや透析装置が移動し危険なことがあるので注意しましょう。
- ② **布団やバスタオルをかぶって**蛍光灯などの落下物から頭部をはじめとする体を守りましょう。
- ③ 身の回りの物が乗っているオーバーテーブルを出来るだけ離しましょう。



ベット柵につかまり
振り落とされないようにする



布団をかぶり落下物から頭部
を守る

緊急時の返血について

地震が発生した場合 ～揺れが収まったら～

透析中止および避難指示が出たらスタッフの指示に従って離脱します。当院では感染予防の観点および失血予防から透析回路の切断は行いません。危険が身近に迫っている場合は、通常返血をせずに緊急離脱を行います。

緊急離脱セット



止血ベルト、ガーゼ、インジェクションパッド、コネクタキャップ、プラスチック鉗子、防水シート

緊急離脱時は針のみ残す



透析中に災害が起きた時

火災が発生した場合

火災があった場合も基本的に震災時の対応に準じます。火災時もエレベーターは使用禁止になる場合があります。避難行動中、煙がはいってくるようなら、タオルで鼻や口を覆い、腰をかがめて煙を吸わないようにして下さい。避難後穿刺部や傷の手当を行います。

停電が発生した場合

復電までの時間はどれ位なのか、患者様の安全を最優先に様々な状況を正しく判断し迅速に対応します。停電が長く続くと予想される場合は透析を中断します。停電時には透析装置(コンソール)のバッテリーが稼働し、血液を回収致しますので、ご安心ください。この間、緊急避難を要するか、比較的時間に余裕があるか、次回スケジュールを立てますので、予定が決まるまでは透析室に待機してください。

緊急時の返血について

透析中止および避難指示が出たらスタッフの指示に従って離脱します。当院では感染予防の観点および失血予防から透析回路の切断は行いません。危険が身近に迫っている場合は、通常返血をせずに緊急離脱を行います

緊急離脱セット



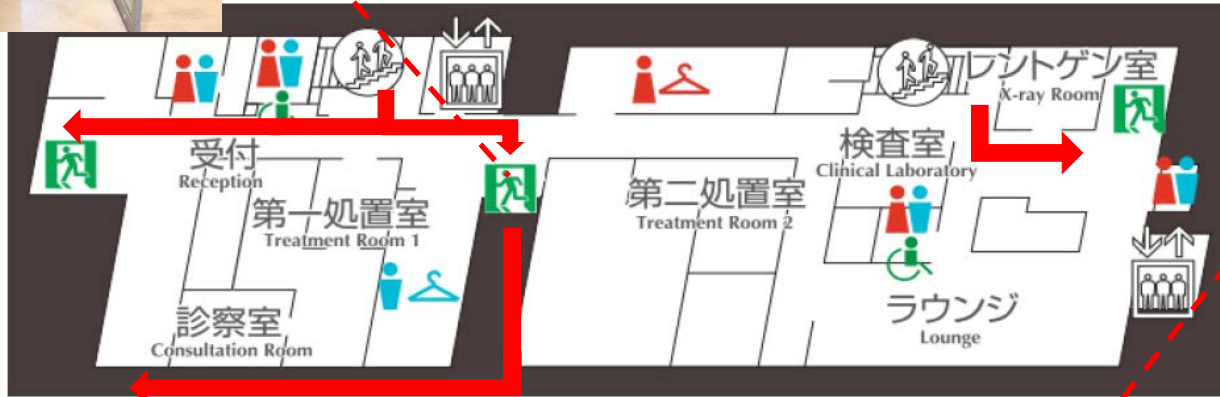
止血ベルト、ガーゼ、インジェクションパッド、コネクタキャップ、プラスチック鉗子、防水シート

緊急離脱時は針先のみ残す



避難経路について

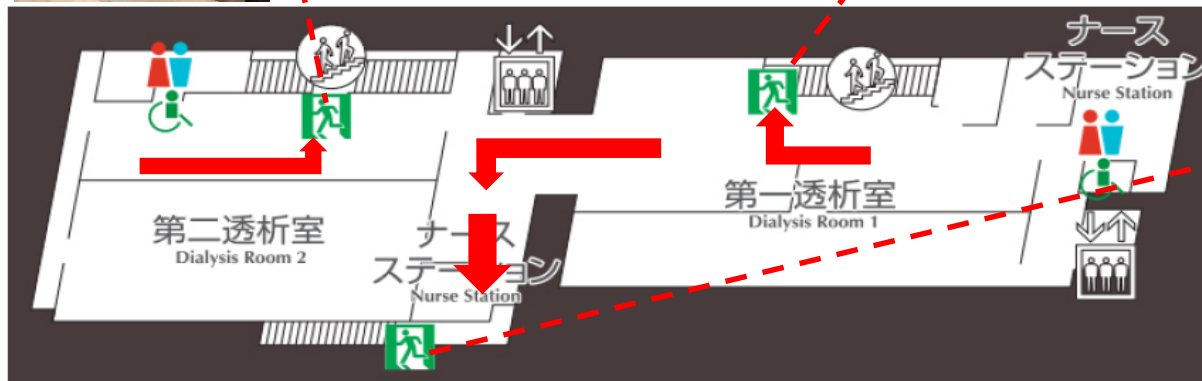
1F



第1透析室



2F



第2透析室



日頃から心がけて
おくこと

透析中に災害が
起きた時

腎内科CL世田谷の
災害対策設備

透析中以外に災害が
起きた時

院内防災訓練の
報告

東京都区部災害時透析
医療ネットワークのご紹介

透析中以外に災害が起きた時

患者



①

クリニックの被災確認

ウェブサイトやフェイスブック、
ツイッターでも被災状況を確認できる

災害伝言ダイヤル(171)で
当院の被災状況を知る

②

患者様の状況を連絡

腎内科クリニック世田谷に連絡

方法

- ・電話
- ・メール

内容

- ・氏名
- ・避難場所
- ・今後の連絡方法など...

直接他の透析施設に
行った場合も連絡してください

伝言の再生方法

①⑦①にダイヤルする

↓ ガイダンスが流れます

再生の場合②を押す

↓ ガイダンスが流れます

03-5969-4976 (当院)

伝言の録音は行わないでください

日頃から心がけて
おくこと

透析中に災害が
起きた時

腎内科CL世田谷の
災害対策設備

透析中以外に災害が
起きた時

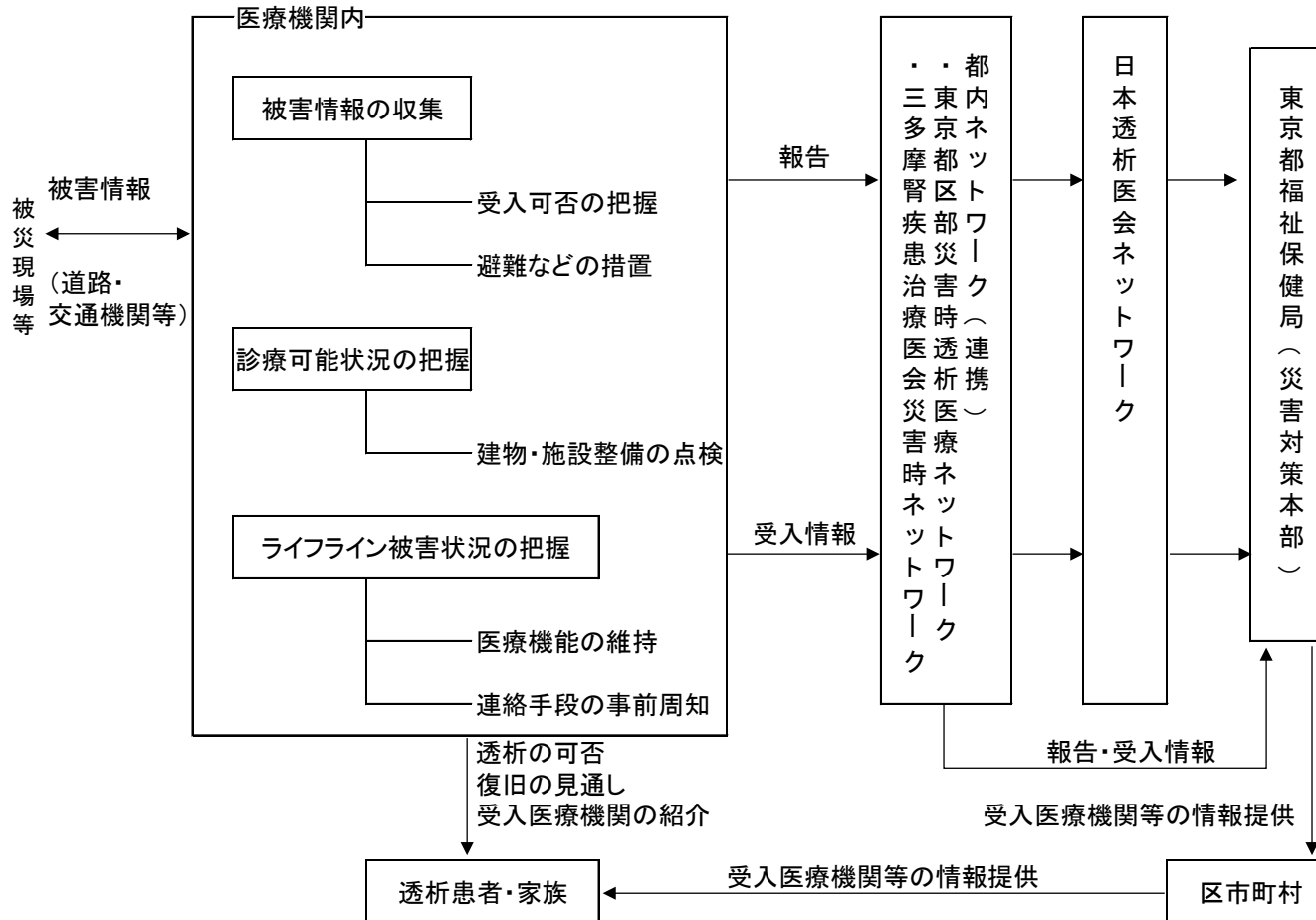
院内防災訓練の
報告

東京都区部災害時透析
医療ネットワークのご紹介

東京都区部災害時透析医療ネットワーク

当院では世田谷区・渋谷区・目黒区の透析施設と災害情報ネットワーク連携をとっております。

災害時の透析医療都内ネットワーク



施設の被害状況や職員の参集状況、透析能力等を勘案し、復旧の可能性を探りますが、不可能と判断された場合は、使用できる通信手段を用いて患者様・ご家族様に連絡をすると共に、都内ネットワークを通じた現状報告をし、透析ができる医療機関への移送を行います。

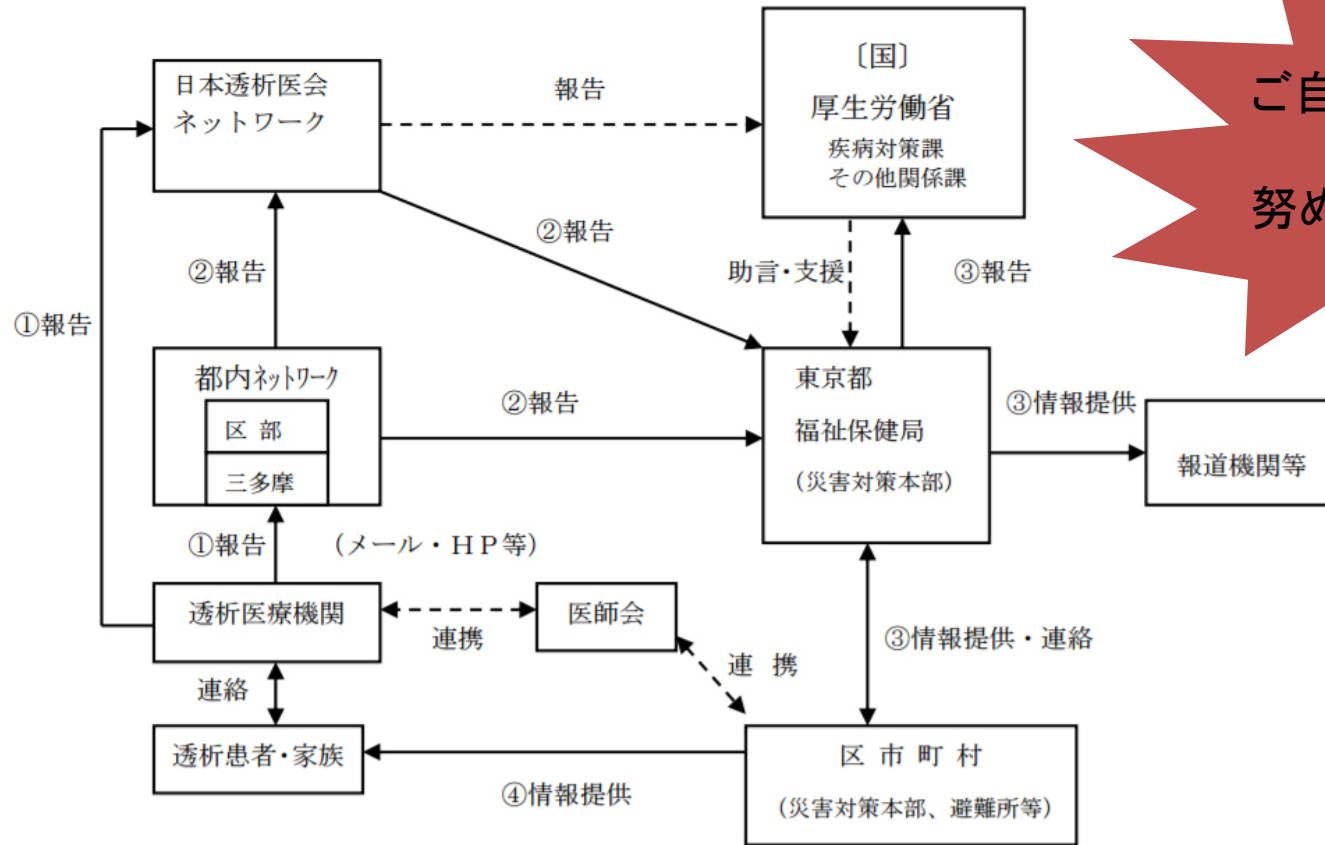
【東京都】福祉保健局保健政策部疾病対策課

【都内ネットワーク事務局】

区部ネットワーク: 東京女子医科大学腎臓病総合医療センター血液浄化療法科

三多摩ネットワーク: 杏林大学病院腎・透析センター

図2 災害時の透析医療情報連絡系統図



ご自身で連絡を取るよう
努めて下さい！

患者様の情報は当院より都内ネットワークへと報告します。都内ネットワークにて集約された患者情報は東京都福祉保健局⇒区市町村へと伝達されます。

こうして受入先の医療機関が決定され、当院または区市町村より避難所等において患者様への情報提供が行われます。ただし、患者様からも連絡を取っていただくようお願いします。一定期間他の医療機関で透析を受ける際は、当院に連絡して下さい。また、自宅を離れる時も連絡先をお知らせ下さい。

また、十分な透析を受けるためにも地方に親戚や知り合いがいらっしゃいましたら、そちらの透析施設を事前に把握しておくこともお勧めします。その際、当院では電話、ファクシミリ以外にも災害時でも繋がりがやすい衛星電話を用意しております。災害時でも連絡が取りやすいEメールも連絡ツールとして選択頂けます。

日本透析医会

Japanese Association Of Dialysis Physicians



災害時情報伝達 MENU

- ▶ [災害時情報送信](#)
- ▶ [情報集計結果](#)
- ▶ [登録施設一覧](#)
- ▶ [全登録情報一覧](#)
- ▶ [その他情報](#)

日本透析医会

OFFICIAL SITE

災害時情報ネットワーク(副本部)

お問い合わせ

免責事項



一般利用者さまへの
メール配信はこちら

日本透析医会 災害時情報ネットワーク

災害時情報伝達・集計専用ページ

アクセス時間：2017年04月22日（土曜日）01時09分

災害時情報ネットワークユーザーIDをお持ちの方

[ログイン](#)

[RSS](#)

[HOME](#)

このページについて

当ネットワークでは震度5以上の地震と、国または地方公共団体により災害救助法が適用されるような、広範囲にわたる構造物の損壊・焼失・浸水・流失、交通網の遮断などの被害が発生した場合に活動を開始します。近くの地域でそのようなことを知った場合には、以下の方法で施設情報の送信をお願いします。

〔災害時情報送信〕をクリックすると情報伝達フォームが表示されます。各入力項目の説明に従って情報を入力し、登録して下さい。同じ施設で情報を更新して登録した場合、集計は最新の情報を採用して計算されます。



最新情報

データはありません

● 支部災害時情報伝達ページ

北海道
東北

[岩手県](#) [福島県](#)

関西

[大阪府](#) [兵庫県](#) [和歌山県](#)

関東

[茨城県](#) [栃木県](#) [千葉県](#) [東京都\(三多摩\)](#)

中国

情報の伝達が最も大切です！

災害時には正確な情報を患者様ご本人やご家族、当院、行政の三者が共有しておくことが、透析医療においては最も大切なことです。

当院からも安否確認や来院の可否の確認、また当院での透析実施の可否などの伝達を行います。通信手段や交通経路が限られている中で、全ての患者様との連絡には時間を要します。ぜひ患者様ご自身で積極的に情報の発信に努めてください。

そのためには、まずご自身の透析治療の基本となる「透析条件カード」を常に最新に保ち、携帯しておきましょう。

ご清聴ありがとうございました

